

加古川市の新しいご当地グルメ「加古川ギョツとメシ」の完成披露試食会が9日、加古川プラザホテル（同市加古川町溝之口）であり、約200人が牛肉を使った新しい料理を味わった。

おいしい食事を提供するこ

り、詰めかけた来場者が次々と買い求めて開始間もなく完売に。加古川市加古川町稲屋の女性(63)は「みそ味はそれほど強く感じないけれど、お肉がやわらかくておいしい。観光客の昼食には手ごろだと思う」と話した。

加古川新ご当地グルメ

「ギョツとメシ」お披露目 釜飯など試食会にぎわう

とで観光客らの滞在時間を延ばし、観光振興につなげようと、「牛肉を使う」「みそで味付け」などの共通ルールを設け、市内の飲食店9店が半年かけて開発した。

試食会は、参加した7店が釜飯や丼、巻きずしなどそれぞれ30～50食を用意して始ま

市は、フリーペーパー「加古川じゃらん（加古川ギョツとメシ編）」（A4判8頁）やホームページ(<http://gyu-to-meshi.kako-navi.jp>)で料理や店の情報を発信している。問い合わせは市観光振興課（079・424・2190）へ。

【藤田宰司】



多くの来場者でにぎわった「加古川ギョツとメシ」の試食会
＝加古川市加古川町溝之口の加古川プラザホテルで